

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	62 文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり		040200	企画振興部文化交流課	0595-22-9621
	施策	6201 豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	評価責任者・役職名	企画振興部 部長 藤岡 淳次		
再生の視点(何を、どうする)	・文化芸術にふれる機会や発表する機会を通じて、参加者はもちろん、多くの市民が楽しく交流でき、担い手の育成につながる文化振興事業となるよう、実施方法の改善に取り組みます。					
施策の方向	市民に気軽に文化・芸術にふれる機会や外部の芸術家などの参画による交流機会を、活動団体などと連携し、提供するとともに、文化芸術活動の担い手の育成を進め、地域の文化活動の裾野を広げる取り組みを推進します。 また、本市にゆかりのある芸術家を活用し、文化水準の向上等に向けた取り組みを図ります。					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値(平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	市民美術展覧会応募者数(人)	一般応募数	136	目標 160 実績 135	160	160

改善・取組方向	平成26年度		平成27年度	
	前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) ・市民美術展覧会や市民文化祭では、展示や運営面等で少しずつ改善を図ってきていますが、参加者や入場者が限定的になりつつあり、若年世代の参加率の向上や造形芸術等への関心を広く喚起するまでには至ってないため、これらに対応できるような実施方法等の検討が必要です。	(平成26年度の取組内容と残された課題) ・市民の文化・芸術意識の高揚及び参画を図るため市民文化祭、市民美術展覧会を開催したが、大きな運営改善等はできませんでした。 ・都市間交流事業については、芭蕉翁生誕370年記念事業に関連し、ゆかりの地との交流および、「東大寺サミットIN美祿」等に参加し、伊賀市の魅力発信と情報交換を行いました。	・市民美術展覧会、市民文化祭は、課題解決につながるより効率的及び効果的な実施方法について、関係者等と協議を進めます。
改善ポイントと具体的な取組				

(続紙)

施策 6201

豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚

No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見 込	H27 予算
01	2	2	文化振興一般経費(01-02-01-07-128-01)	○市民管弦楽団の運営助成 ○文化振興基金利子等積立	↓	10,254	2,417
02	3		美術展覧会運営経費(01-02-01-07-128-51)	○市民美術展覧会「市展いが」を開催・絵画、彫塑工芸、写真、書の作品募集、公開審査実施、展示、表彰、作品講評会の開催	→	1,395	1,424
03			文化祭開催経費(01-02-01-07-128-52)	秋に開催される市民文化祭の運営を市民文化祭実行委員会に委託。市は実行委員会会議の開催、公募団体の受付、参加費集金、広報等の面で側面支援を行う。	→	1,450	1,500
04			先賢顕彰費(01-02-01-07-128-54)	郷土の偉人(文豪横光利一及び橋本策医学博士)の顕彰	↑	240	489
05	1	1	都市間交流推進事業(01-02-01-07-130-51)	芭蕉ゆかりの都市や東大寺の造営や再建などで歴史的に関係の深い都市と交流し、伊賀市の文化を発信し、相互の情報交換をする。	↓	519	241
構成事務事業 合計						13,858	6,071

構成事務事業の重点化

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	62 文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり		040200	企画振興部文化交流課	0595-22-9621
	施策	6202 市民の身近で充実した文化施設	評価責任者・役職名	企画振興部 部長 藤岡 淳次		
	再生の視点(何を、どうする)	・それぞれの文化施設の特性や機能を考え、市民が気軽に文化芸術作品にふれることができる魅力ある施設づくりに取り組みます。				
施策の方向	将来の文化芸術活動における潜在的活力を生み、地域振興につながるよう、文化施設の改善に取り組みます。					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値(平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	文化施設の来館者数(人)	芸術文化普及振興事業の入場者数	10,279	目標 18,000 実績 11,511	18,000	18,000

改善・取組方向	平成26年度		平成27年度	
	前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) ・文化会館など4館は、指定管理者により適正に管理運営され、あわせて必要な施設及び設備改修等を施すことにより維持することが出来ました。今後、各施設の利用特性や、施設機能、経済性等も考慮した中で、文化振興拠点として適切な運営方法を検討する必要があります。	(平成26年度の取組内容と残された課題) ・文化会館など4館は、指定管理者により適正に管理運営されていますが、公共施設の最適化計画の中で、文化会館・青山ホール以外はホール機能を維持しないとしたため、今後、各施設の利用特性や、施設機能、経済性等も考慮し適切な運営方法を検討する必要があります。 ・文化会館の舞台装置の改修を行いました。(3年計画の2年目) ・指定管理者との連携を密にしなが、魅力ある行事の企画、適切な施設運営、施設づくり等に努めました。	指定管理者との連携を密にしなが、魅力ある施設運営、施設づくり等に努めます。 ・4ホールの今後のあり方については、公共施設の最適化計画の議論の中で、将来に相応しい施設のあり方を検討します。

(続紙)

施策 6202

市民の身近で充実した文化施設

No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見込	H27 予算
01	2	2	島ヶ原会館維持管理経費 (01-02-01-05-115-06)	文化の向上に資するための拠点として、地域住民が利用しやすい公共施設を目指し、維持管理に努める。	↓	101,735	5,640
02	1	1	文化施設維持管理経費(01-02-01-07-131-05)	○指定管理者制度導入に伴う4館のうち、3館(ふるさと会館いが・阿山文化センター・青山ホール)の施設使用減免申請に係る会場借上料 ○伊賀市文化会館等の施設改修工事の実施 ○文化ホール施設の指定管理者制度による委託	↑	288,322	339,315
構成事務事業 合計						390,057	344,955

構成事務事業の重点化

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	040200	企画振興部文化交流課	0595-22-9621
	施策	6203	芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	評価責任者・役職名	企画振興部 部長 藤岡 淳次	
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 芭蕉翁の生誕地である伊賀市民として、翁の顕彰を次世代に引き継ぐため、市民自らが知り、学ぶ機会を通じて、積極的に参加する顕彰事業の展開と、芭蕉翁の生誕地での投句がより魅力的に感じる情報発信の仕方やイメージアップを図ります。 芭蕉翁の顕彰と俳句文芸やまちなか周遊の拠点となり、人づくり、まちづくりにつながる新たな文化創造拠点施設として、新芭蕉翁記念館の整備に取り組みます。 				
施策の方向	松尾芭蕉翁の功績を称え顕彰していくとともに、次世代を担う子どもたちに俳句の楽しさを伝えるよう取り組みます。また、関係団体や地域などとともに、芭蕉翁生誕370年の節目に実施する事業をきっかけとして、芭蕉翁を核とした交流事業や新たな文化創造事業などの継続を図ります。 新芭蕉翁記念館は、芭蕉翁の功績や俳句、さらには日本文学全般を楽しくわかりやすく紹介する施設とします。					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値(平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	芭蕉祭献詠俳句応募数(句)	一般・児童・生徒の部献詠俳句応募数	34,355	目標 40,000 実績 40,499	40,000	40,000

改善・取組方向	平成26年度	平成27年度
	<p>前年度の取組内容と残された課題</p> <ul style="list-style-type: none"> (平成25年度の取組内容と残された課題) 芭蕉翁生誕地である本市の使命として、芭蕉翁顕彰のための様々な事業の継続や関連施設の管理運営に努めてきたが、市民の芭蕉翁顕彰や俳句に対する取り組みへの意識が衰退している感があります。 芭蕉翁の生誕地が伊賀市であることの発信力の弱さを感じます。このため、平成26年に迎える芭蕉翁生誕370年を機に、市民等と一体となって芭蕉翁顕彰を次世代に継承する取り組みや生誕地を発信する取り組みを積極的に行う必要があります。 新芭蕉翁記念館整備については、(仮称)芭蕉翁記念館事業計画検討委員会で議論され、同委員会から、候補地案と事業計画案の答申を受けました。 	<ul style="list-style-type: none"> (平成26年度の取組内容と残された課題) 芭蕉翁生誕370年記念事業では、83事業を実施しました(実行委員会事業24、自主事業30、協賛事業29)。今後、この成果をどのように活かし、つなげていくかが課題です。 芭蕉祭は370年記念事業にからめ、ブラッシュアップして事業を実施しました。 ユネスコ無形文化遺産登録推進については、近年、登録申請した関係団体等への詳細調査や準備会等の設置が必要です。 新芭蕉翁記念館整備については、現在の上野図書館を改装することとしていますが、南庁舎の利活用が確定しないため具体的な検討を行っていません。
<p>改善ポイントと具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 芭蕉翁生誕370年を機に、市も参画する実行委員会による各種の顕彰事業や、市内の各種団体等による自主、協賛事業を展開し、芭蕉翁顕彰に対する市民の意識を喚起し、次世代に継承する取り組みとします。 芭蕉翁ゆかりの都市などとの交流を通じ生誕地伊賀市の発信力を高めます。これまで継続してきた顕彰事業については、充実又は改善できるよう関係団体等と協議します。 芭蕉翁記念館整備については、(仮称)芭蕉翁記念館事業計画検討委員会の答申内容を踏まえ市の事業計画として成案化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句・俳諧、芭蕉の精神世界をユネスコ無形文化遺産に登録推進するため、各種調査、検討を進めます。 芭蕉翁生誕370年記念事業で得たノウハウ等を、芭蕉祭の運営などにも活かしていくよう努めます。 芭蕉翁記念館、偲翁舎、蓑虫庵の指定管理が平成27年度で満了するため、記念館等の新たな運営方法も含めた検討します。 重要文化財俳聖殿及び門を災害から守り、次世代に継承するため、防災設備の充実を図ります(27、28年度2カ年事業)。 新芭蕉翁記念館整備事業については、南庁舎の利活用が確定すれば、現行の基本計画(展示・施設計画)を見直すとともに、併せて建物周辺の土地利用について調査検討を行います。 	

(続紙)

施策 6203

芭蕉翁を核とした地域づくりの継承

No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見込	H27 予算
01		1	無形文化遺産登録推進経費(01-02-01-08-919-51)	俳句・俳諧、芭蕉の精神世界がユネスコの無形文化遺産に登録されるよう調査・研究を行うとともに、関係自治体や団体へ連携を呼びかける。	新規	0	285
02	2	3	芭蕉祭執行等経費(01-02-01-08-133-51)	(公財)芭蕉翁顕彰会への委託事業として芭蕉祭を実施。俳文学関係著作の優秀著書に文部科学大臣賞を授与するため、選考委員会を運営し、決定	→	9,325	9,588
03			しぐれ忌執行等経費(01-02-01-08-133-52)	(公財)芭蕉翁顕彰会への委託事業として実施。地域(山出区)が主となり式典等を開催している。	→	300	300
04	3		芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等管理運営経費(01-02-01-08-134-51)	○指定管理者制度による施設管理委託 ○芭蕉翁顕彰会から、芭蕉翁記念館に展示するための資料の借上げ ○各施設の修繕経費	↓	36,320	33,670
05			俳句啓発推進経費(01-02-01-08-135-51)	俳聖松尾芭蕉を顕彰し、俳句に親しむための啓発推進事業	↓	998	1,015
06	1		芭蕉翁生誕370年記念事業経費(01-02-01-08-909-52)	芭蕉翁生誕370年を記念し、芭蕉翁生誕370年記念事業実行委員会を中心に市内で行われる顕彰事業や、「生誕地は伊賀市」を全国に発信する各種事業を実施する。事業自体は平成26年度のみ。	皆減	17,623	0
07		2	俳聖殿等消防施設整備事業(01-10-05-02-676-51)	重要文化財俳聖殿および門の防火設備等設置工事	新規	0	49,772
構成事務事業 合計						64,566	94,630

構成事務事業の重点化

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり		450500	教育委員会文化財課	0595-47-1285
	施策	6204 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	評価責任者・役職名	教育委員会 教育次長 伊室 春利		
再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市史の編さんや伊賀市の文化財冊子を刊行するとともに、収集した資料を次世代に引き継げるよう適切に保存・管理することに努めます。 文化財の適切な保存を図るため、調査による文化財指定・登録を推進するとともに、指定文化財の保護と活用、民俗文化財の保存・伝承に努めます。 埋蔵文化財の保護のため、開発事業者との協議を進め、効果的な発掘調査を行い、的確かつ正確な記録・保存に努めます。 国史跡伊賀国庁跡の公有化を進めるとともに、上野城跡をはじめとする史跡を保存しつつ、その整備を進めます。 					
施策の方向	これまで受け継がれてきた本市の歴史について、市民の協力を得ながら『伊賀市史』としてまとめ後世に伝えます。あわせて、貴重な文化財を次の世代に引き継ぐため、文化財に対する理解を深め、保護する心を育て、文化財を通して郷土への誇りや愛情に結びつくよう、文化財の調査、保存、伝承並びに活用に努めます。					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値(平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	文化財施設への入館者数(人)	伊賀市所有の主要文化財施設への年間入館者数	24,369	目標 24,100 実績 23,609	24,350	24,600

改善・取組方向	平成26年度	平成27年度
	前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) <ul style="list-style-type: none"> 『伊賀市史』の第5回配本となる、第3巻通史編近現代を刊行するため、編集・校正作業を進めています。 国史跡上野城跡や旧崇広堂等の文化財の保存、整備、修理の事業は、計画どおり完了した。また国史跡伊賀国庁跡の公有化も順調に進捗しています。 文化財活用の観点で指定管理している旧崇広堂・旧小田小学校本館・入交家住宅・城之越遺跡は、入館者数が合計では増加の傾向であります。また、上野・柘植歴史民俗資料館や大山田郷土資料館の入館者数も順調でした。 新たな市指定文化財を4件指定できました。また、埋蔵文化財発掘調査では法華堂東館跡の調査を実施しましたが、公共事業との関係で発掘調査報告会や現地説明会が実施できませんでした。 今後は、市の財政が厳しくなる中で、史跡の環境保全としての草刈り経費や指定管理している文化財施設の管理経費が圧縮されていくことが予想され、経費削減と予算を有効活用する工夫が必要です。
改善ポイントと具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 『伊賀市史第3巻通史編近現代』の発刊にかかる編集・校正作業を適切に行います。また、第2巻通史編近世の刊行に向けて、担当編集委員、執筆者等と協議を重ね、執筆を円滑に進めていただくとともに、原稿の内容について検討を行います。 文化財の保存・整備・修理事業等は今後も順調に進めていきます。 来館者数が伸び悩んでいた上野歴史民俗資料館を指定管理から外し、市直営として入館料無料とするとともに文化財情報発信・貸し館施設にリニューアルしました。また、柘植歴史民俗資料館・大山田郷土資料館、阿山ふるさと資料館の統廃合を検討します。 経費削減のため指定管理している文化財施設(旧崇広堂・旧小田小学校本館・入交家住宅・城之越遺跡)について、週1日の休館日を試験的に設けました。 市の豊富な文化財をはじめとする歴史資源を活用してまちづくりを進めるため、伊賀市歴史的風致維持向上計画の策定に着手しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 【歴史的風致維持向上計画策定事業】 <ul style="list-style-type: none"> * 歴まち計画策定の進捗状況に関係する部署で確認を行い、変更策定スケジュールを作成し、庁内の連携を図ります。 【伊賀国庁跡公有化事業】 <ul style="list-style-type: none"> * 国史跡伊賀国庁跡の利活用について、地元説明会を開催するとともに、用地取得の完了を目指します。 【市史編さん事業】 <ul style="list-style-type: none"> * 『伊賀市史第2巻通史編近世』の編さんに関し、執筆者と協議を行い編集・校正作業を進めます。『伊賀市史第7巻年表・索引』の編さんに係る検討と原稿作成作業を行います。

(続紙)

施策 6204

歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ

No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見 込	H27 予算
01	2	3	市史編さん事業(01-02-01-16-150-01)	『伊賀市史』は、市域の歴史を古代・中世、近世、近現代の3つの時代に区分し、それぞれの時代の資料編、通史編と年表・索引1巻の合計7巻の編さんを計画している。	↓	25,439	22,645
02			たわらや維持管理経費(01-10-05-01-432-58)	県有形文化財「講看板」などの展示、保管を行っている。	↓	1,150	1,054
03			文化財保存経費(01-10-05-02-434-51)	文化財の保存修理を実施するとともに、文化財の保存・活用事業を実施する。①文化財保存修理や補助金交付 ②市指定文化財候補の調査 ③史跡草刈りなど環境整備 ④審議会・指導委員会の開催など。	↓	7,213	6,947
04			国史跡伊賀国庁跡環境整備事業(01-10-05-02-434-54)	公有化後の土地の草刈等環境整備を行う。	↑	861	1,143
05			埋蔵文化財整理所等維持管理経費(01-10-05-02-435-01)	埋蔵文化財調査整理所・阿山ふるさと資料館の維持管理等の経費、文化財年報発行の経緯。	↑	339	519
06			柘植歴史民俗資料館維持管理経費(01-10-05-02-435-02)	柘植歴史民俗資料館の維持管理に要する経費。	→	2,060	2,174
07			大山田郷土資料館維持管理経費(01-10-05-02-435-03)	大山田郷土資料館の維持管理に要する経費。	→	520	620
08	1		上野歴史民俗資料館維持管理経費(01-10-05-02-435-53)	上野歴史民俗資料館の維持管理に要する経費。	→	5,369	5,459
09			旧小田小学校本館維持管理経費(01-10-05-02-435-52)	旧小田小学校本館の駐車場として利用する用地を借上げる。	皆減	120	0
10			伊賀国庁跡保存整備計画策定事業(01-10-05-02-437-59)	国史跡伊賀国庁跡公有化後の史跡の具体的整備方針を市民・有識者とともに検討し、計画書を策定する。	↓	3,954	2,417
11	3	1	歴史的風致維持向上計画策定事業(01-10-05-02-437-60)	歴史的まちづくりのための計画書を策定する経費。	↑	679	842
12			城之越遺跡維持管理経費(01-10-05-02-435-56)	城之越遺跡・学習館の維持管理に要する経費。	↓	8,901	7,298
13			文化財施設維持管理経費(01-10-05-02-435-59)	旧崇廣堂・旧小田小学校本館・入交家住宅の指定管理者を指定し、文化財施設として保存管理するとともに、企画展等を開催し活用を図る。	→	15,173	15,577
14			民間等受託発掘調査経費(01-10-05-02-436-51)	民間業者の開発行為や公共事業に伴う土地の掘削等形状変更を行なう場合に、そこにある遺跡の確認や埋蔵文化財保護に係る調査及び措置を実施する。	→	0	4,300
15			国史跡上野城跡植生調査経費(01-10-05-02-436-57)	上野城跡の史跡範囲には、イガザサ・シノブ・ヒナランをはじめ希少な植物が自生しているので分布調査する。	皆減	3,780	0
16			国史跡上野城跡保存整備事業(01-10-05-02-437-51)	国史跡上野城跡の筒井本丸跡にあった藤堂藩城代屋敷跡を整備し、遺構を顕在化することで、市民・観光客に史跡上野城跡の文化財価値を高める。	→	15,001	14,908
17			国史跡旧崇廣堂保存整備事業(01-10-05-02-437-52)	全国で数少ない江戸時代の藩校遺構である国史跡旧崇廣堂で、市民の憩いの場、生涯学習の場として文化財を保存・活用するため、伝統的工法を用いてその姿を保存修理している。	↑	4,640	4,968
18		2	伊賀国庁跡公有化事業(01-10-05-02-437-57)	平成21年度に国史跡指定を受けた伊賀国庁跡を27年までに順次公有化していく。	↓	24,250	13,519
19			国史跡上野城跡高石垣計測事業(01-10-05-02-437-58)	高石垣崩落に備え測量し、復旧用の図面を作成する。	皆減	1,610	0
構成事務事業 合計						121,059	104,390

構成事務事業の重点化

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	62 文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり		040800	企画振興部スポーツ振興課	0595-22-9635
	施策	6205 だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興	評価責任者・役職名	企画振興部 部長 藤岡 淳次		
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 多様なニーズに応えるため、マラソン大会をはじめとする各種イベント及びスポーツ教室の充実、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進並びにスポーツフェスティバルの種目見直し等により、市民が参加しやすい体制を整えます。 自ら行う「する」スポーツとともに、「観る」スポーツによる地域振興のため、魅力ある全国規模のスポーツ大会の誘致に努めます。 既存体育施設の統廃合を進めるとともに、ニーズに合わせた施設整備と効率的な管理に努めます。 				
施策の方向	子どもからお年寄りまで、だれもが気軽にスポーツを楽しむことができ、健康づくりや地域の一体感を育む事ができるスポーツ活動を推進するとともに、より利用しやすい施設の整備と効率的な管理に努めます。					

成果指標名	指標の説明	現状値(平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加者数(人)	スポーツフェスティバル・マラソン参加者のうち市民参加者数	4,234	目標	4,300	5,000
			実績	4,024	

	平成26年度	平成27年度
改善・取組方向	<p>(平成25年度の取組内容と残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツ活動を推進するための施策・事業については、主に地域で活動しているスポーツ関係団体や指導者への支援、及び身近な地域でスポーツ活動ができる場所の確保を中心に取り組んできました。しかしながら各地区のスポーツ少年団の団員不足・指導者不足、また、各地区の体育協会における後継者不足や地区でのスポーツイベントにおける参加者減少等の問題が生じています。 市民のスポーツ参加機会を拡充するための施策・事業については、主に市民スポーツフェスティバルやスポーツ教室を開催しました。しかしその後、個人がそのスポーツ活動を継続していく方向に、なかなかつながらないという現状があり、主体的なスポーツ活動の継続につながる施策が求められています。 スポーツ施設については、それぞれの競技種目人口に比べ施設数が過剰であるため、公共施設適正化方針に基づき施設の統廃合を進める必要があります。 	<p>(平成26年度の取組内容と残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ団体やスポーツ推進委員、地域住民の協力の下、シティマラソンやスポーツフェスティバルを実施しました。 スポーツ関係団体への補助金については、補助金の目的・用途等、より適正な運営管理を求めました。また、当該が事務局を持つ団体等には独立した組織づくりを支援する必要があります。 公共施設の最適化方針に基づき、それぞれの施設の今後のあり方について検討を行いました。 2021年度みえ国体開催に向けた調査を開始しました。 各種スポーツイベント等の補助金については、統合や廃止を行う必要があります。 スポーツ推進委員の地域での活動を支援するため、住民が気軽に楽しみ、継続して行えるスポーツの研修会等を開催する必要があります。
	改善ポイントと具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 今後、地域のスポーツ活動をより一層充実していくためには、各団体が抱えている課題や問題を、各地域の単一団体が解決するのではなく、地域で活動している各団体が一つにまとまり、団員の拡大、指導者や施設の共有など、情報交換をしながら地域の中で解決していくといった仕組みづくりが必要です。 初心者がスポーツを始めるきっかけとなる事業や、指導者・場所・仲間(サークル)の紹介などといった各種スポーツ情報の提供を充実するなど、個人が自立的・主体的に、スポーツを継続していけるような施策の拡充が必要です。 スポーツ施設については、公共施設の適正化方針に基づき施設の統廃合を進めるとともに、施設・設備の老朽化への対応や市民ニーズ、社会環境の変化に対応する施設の管理運営など、サービス面を含めた、施設の質・機能の向上が必要です。今後は、市民の多様なニーズに応えられるよう、生涯スポーツ活動の場や競技スポーツの場など、スポーツ施設の役割分担を明確にする必要があります。

(続紙)

施策 6205

だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興

No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見込	H27 予算
01		3	三重国体準備経費(01-10-06-01-450-02)	三重国体開催に向けての準備経費。先見地視察等経費	新規	0	150
02	1	1	スポーツ活動振興事業(01-10-06-01-451-51)	・市民が気軽に楽しめるスポーツイベントを開催し、スポーツ振興を図る。 ・「見て楽しむ」スポーツを普及振興するため「IFCクノー」を支援する。 ・スポーツ人口の拡大、競技力向上などの取り組みを関係団体へ委託する。	→	21,539	21,663
03	2	2	地域スポーツ活動推進事業(01-10-06-01-452-51)	・市民が健康な生活が過ごせるよう、気軽に参加できるスポーツ教室など、各種スポーツ事業を実施する。・スポーツ推進員を活用し、市民のニーズに応じたスポーツ教室を開催するとともにスポーツ指導者を育成する。	↑	4,510	4,874
04	3		体育施設維持管理経費(01-10-06-03-455-01)	三重県より指定管理を受けている「三重県立ゆめドーム」の施設維持管理のほか市所有の体育施設の維持管理を行う。・市内31施設を指定管理業務委託・既存の体育施設の維持修繕工事等の実施	↑	168,995	171,225
05			体育施設整備事業(01-10-06-03-456-51)	市内体育施設の大規模改修工事や整備事業を行う。	皆減	62,981	0
構成事務事業 合計						258,025	197,912

構成事務事業の重点化